

たかしま市
まちづくり
情報誌!

たかしまウオッチャーズ

第15号
2012
2・3月号



●発行／たかしま市民協働交流センター協議会

豊かな自然が残る高島市

これからの私たちは、積極的に、そして意識して多様な生物が暮らせる環境を守っていくための取り組みが必要になってきます。

そして、守ることが同時に暮らしを豊かにすることにつながります。



写真提供：高島市新旭水鳥観察センター 他

◆目次

P 1・2 豊かな自然が残るびわ湖たかしま源流の郷
たかしまを考える

キラキラ☆NPO・市民活動

P 3 アレルギーっ子の気持ちを考える会

P 4 高島手話サークル 扇の会

P 5 わがまち散歩～すてきたかしま再発掘～
言の葉たより

P 6 今、時代の風は高島に!

P 7 たかしま INFORMATION

豊かな自然が残る

琵琶湖源流の郷 たかしま

を考える!!

豊かな自然とは？

高島市を語る時、豊かな自然が残っている」と言う表現が使われます。では、豊かな自然が残っているとはどういうことでしょうか？ 緑の山々があつて、清らかな水が流れる川と、そして恵みをもたらしてくれる里山や水鳥たちが遊ぶ琵琶湖岸。そういったことが自然の豊かさであると言つのは、表面的なところからです。

実は、高島市内には極めて多くの絶滅危惧種や絶滅危機増大種、希少種が、そして琵琶湖には61種の固有の水生生物が生息していると言われてます。緑の山々や清らかな川の陰には、こうした多様な生物が生きていて、バランスを保って生きていくことが可能な状況が残っているのです。生物学者は、こうした多様な生物が住んでいることを「生態ピラミッド*が良好に保たれている」と言います。ですが、そうした生態ピラミッドが良好に保たれるためには、太陽の光とか、空気や水、土壌とか、生物をとりまく無機質なものを含めた全体のつながりを「生態系」としてとらえる必要があります。つまり、自然を守るには、目に見える個々の動物や植物を守るだけではなく、無機質なものを含めたトータルとしての生態系を守るという視点が必要なのです。

多様な環境が守られてきた高島

高島市には

●山地エリア

ブナ原生林（朽木生杉など）、溪流（天増川や八淵の滝など）、ため池（淡海湖など）

●山麓エリア

棚田（畑など）、雑木林（マキノ町石庭周辺など）、湿地帯（マキノ西浜など）、社寺林

●下流／湖岸エリア

水田地带（新旭町藁園など）、内湖（今津町貫川内湖など）、湖岸（今津浜の松並木など）

といった多様な環境が残っていることに気がつきます。そして、高島市内のこの様な多様で貴重な環境はほとんどが住民の活動によって守られてきたものです。近年、生物多様性の重要性が強調されていますが、幸い高島市にはこの様に多様な環境が残っており、そういった環境に適応した様々な生態系が成立しています。そしてその結果として、絶滅危惧種、絶滅危機増大種や希少種を含めた多様な生物が残っていると言つことなのです。

「4つの危機／生物多様性の重要性が強調された理由」

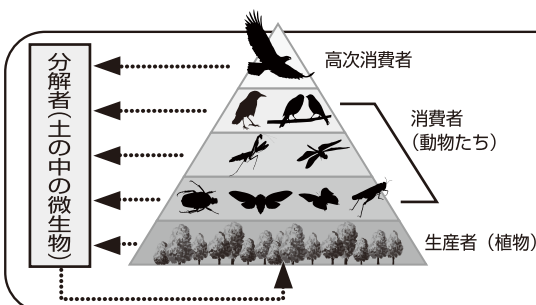
- 1 人間活動や開発による破壊の危機
- 2 里地・里山などに適度にかかわってきた人間活動の縮小による危機
- 3 人間により持ち込まれたもの（外来種、農薬など）による危機
- 4 地球温暖化による危機



② 【山麓エリア】畑の棚田



① 【山地エリア】処女湖(淡海湖)



* 解説／生態ピラミッドとは

食物連鎖の頂上にいる猛禽類が生活するには、それらの餌となる小鳥や野ねずみなどが住んでいて、さらにそういった小動物の餌になるものがピラミッドの様に次々に連なって、地中の微生物に至る存在までを必要とします。こうした生物の量的な関係を表したものを生態ピラミッドといいます。これらの一部分が欠けると全体が崩れてしまいます。



コハクチヨウとカモたち

多彩な環境に恵まれた高島市は、「身近な野生動物」である鳥を見るには絶好の地域です。特に琵琶湖の水鳥は、他県の方でも多数観察や撮影に訪れます。湖岸と内陸部を歩けば、出会える鳥は30〜60種以上。クマタカなどの希少な種も生息しています。

市内で食べて、寝て、夫婦になり、子育てしている野鳥達。野生動物の姿や暮らしを覗き見するのは、とても面白いものです。模様や色の美しさ、様々な種類に会う楽しみ…。一羽の鳥をしばし見続けられれば、食事、潜水、ケンカなどのリアルな日常に出会うことが出来るでしょう。

そんな鳥達、特に琵琶湖の鳥を多数見られるのが、高島市新旭水鳥観察センターです。中でもオオバンやカモ類、カイツブリなどはすぐ近くから観察できます。解説担当の職員がいますので、鳥が分からなくても大丈夫。

当センターで、そして普段の外出時に、周りに鳥がいなか捜してみたい。高島に生きる、色々な鳥の生態が見られると思います。



お問い合わせ

高島市新旭水鳥観察センター

TEL: 074-0251-58003

定休日: 火曜日

高島市の生態系が豊かで、多様な生物が生存していると言ふことは、他の市町に比べて、(地球温暖化による危機を除いて)過去においてこれらの危機が重大な脅威にはならなかったことの証明です。これは、高度成長期に乱開発が行われなかったとか、都市部の様な人口の爆発的增加が無かったと言ふことの他、意識するしないにかかわらず、我々の先輩達が暮らしの中で環境と適切な関係を保って暮らししてきたことによるものと感謝する必要があります。

私たちの責任

今まで高島に暮らし人々は、生物のために多様な環境を守ろうと意識して暮らししてきたわけではなかったと思います。ですが、高齢化が進展し、その結果として里山が荒れている状況などを見る時、これからの私たちは、積極的に、そして意識して多様な生物が暮らせる環境を守っていくための取り組みが必要になってきます。

そうしたことから、行政だけの力だけではなく、市民一人一人が力を合わせて環境を守る活動が求められています。そして、守ると言う視点だけでなく、守ることが同時に暮らしを豊かにすることにつながることを覚えておく必要があります。

(NiGA記)

お話を聞ききた人・団体

●今津町

●高島市

松見茂さん
環境政策課



④ 【湖岸エリア】今津浜



③ 【山麓エリア】雑木林(やまおやじ)

写真①: 【山地エリア】淡海湖	石田川上流の淡海湖は大規模な人造湖である。森林区分では冷温帯または温暖帯から冷温帯への移行帯にあたり多種多様な植物が繁茂する。
写真②: 【山麓エリア】畑の棚田	棚田は様々な動植物が生存できる環境が保たれ、景観的価値も大きい。市外の人達の協力を得て貴重な環境を守る取り組みが行われている。
写真③: 【山麓エリア】雑木林	クヌギやコナラなどは薪や椎茸のほだ木として活用されることによって、きれいな雑木林が保たれてきた。
写真④: 【湖岸エリア】今津浜	高島市の浜辺には貴重な海浜植物が見られ、市民を対象とした自然観察会なども行われている。



アレルギーっ子の 気持ちを考える会



食物アレルギーは、特定の食品を摂取した時に、体を守る免疫のシステムが過敏に働き、アレルギー症状を起すことです。小さな子どもの場合、どの食物でアレルギーが出るかわからず、そしてアレルギーから身を守るすべを持っていません。その為、家族の協力がどうしても必要となります。しかしこうした子どもたちを守る負担は大きく、すべてが家族に掛かっている状況です。

そういった食物アレルギーの子どもを持つご家族がお互いに助け合うため、アレルギーっ子の気持ちを考える会が活動されています。

アレルギーっ子の気持ちを考える会は、食物アレルギーの子どもを持つお母さん方が中心となって結成され、年に数回、すくすくひろばを開催されています。

すくすくひろばの活動

- ・アレルギーの原因となる食品を代替、除去したおかしやおかずの調理
- ・市販されているアレルギー用の食品の試食会
- ・緊急時対応が可能な病院の情報交換
- ・アレルギー対策食品が買える薬局の情報交換 など

会の前身は高島地域子育て支援センターの先生と保護者によって作られた、食物アレルギー児を持つ親の話し合いの場でした。しかし子どもが成長して園や学校に通うようになると給食の問題なども出てくるので、市内全域で悩んでおられる家族の話し合いの場が欲しいと言つ声上がり、会を設立

されました。

ですが会の認知度が低く、保健師さんから紹介されて初めて会の存在を知り方が多いそうです。またアレルギーを持つ子どもの把握も、家族から保健師さんに相談されて初めてわかることが多いそうです。

普段の家事や子育てに加え、家庭内外で子どものアレルギー対応に追われるという負担の多い生活を強いられることから、同じ悩みを抱えた家族同士のネットワークは心強いも



のがあります。会に参加し悩みを打ち明けることによって心が安らぐ方や、同じつらい思いをしている他の方の役に立ちたいと活動を続けられるメンバーも多いそうです。

食物アレルギーは個人差が激しく、一様の対応が難しいとされています。

時には命に関わる危険性があるにもかかわらず、一般にはアレルギー症状の理解が低く、対応が遅れてしまつケースも見受けられます。

アレルギーの子どもを持つ家族の負担をやわらげるため、そして子どもにみんなと同じ時間を楽しく過ごせるよう、力を合わせて活動を続けてもらいたいと思います。

(竹内 記)

食品アレルギー さまざまな症状にご注意を!!

全身にじんましん・嘔吐・呼吸症状

食物アレルギーの症状では、全身に渡って複数の症状が現れるアナフィラキシーが起きる場合があります。

上記の症状が起こった場合、早急に救急車を呼ぶか病院へ搬送する必要があります。その際、必ず「アナフィラキシーです」とお伝えください。

呼吸困難・意識障害・血圧低下

このような症状が出た時は、一刻も早く病院へ!! ショック症状を伴うアナフィラキシーショックは、生命をおびやかす危険な状態です。

!! かかりつけ医 もしくは最寄りの病院で受診してください!!
!! 外来される場合は、事前に病院へ電話でご確認ください!!

休日や夜間で判断が難しいと感じた時は 小児救急電話相談へ

#8000 (または 077-524-7856)

平日・土曜日 午後6時～翌朝8時

日曜日・祝日および年末年始 午前9時～翌朝8時



お問い合わせ

高島保健センター 菅原

Tel: 0740-36-8008

続けているうちに気づくことが大きい。
いっぱい学びがありました。

毎週休まずに通っているよ。
進行係もがんばっているよ。

扇の会の命名は当時高島で有名なものは何だろうと話し合い名づけました。
みなさん 毎週集まってくれてありがとうございます。

時間はゆっくり流れて
気持ちもゆったりします。



クリスマス会 楽しかったね。

お問い合わせ

高島手話サークル扇の会 …… TEL0740-25-6954 藤野
手話サークルミッキー …… TEL0740-32-1820 薬師川
手話サークルひまわり …… TEL0740-36-0201 田野

扇の会が生まれたのは、今から40数年前のこと。ろうあ学校を卒業した人たちが高島の企業に就職されて会社の往復だけではつまらない、集まって話をする場がほしい!!そうして始めたのが扇の会です。

手話は心
やさしい心で

ポランティア活動も一生懸命続けるうちに、当然悩みも生じてきます。そんな時、川淵先生の「高島には手話の必要なるう者がいるのに、手話の出来る人がいないのは困る。高島の地に手話の火を消さないで」。その言葉に励まされ、悩んだ時には思い浮かべて続けてきた40年です。

最初は聞こえる人・聞こえない人というような感覚で学んでいました。いつ頃からかサークルは、いろんな個性(障がい)を持つ人々が参加してくださり、その素晴らしいさを感じるようになりまし



私たち健聴者の手話技術が充分でなくても、一生懸命手話で伝えようとする姿は相手に通じます。自分の手だけではなく、目や表情を見つめてくれて「わかった」と目が輝く時、嬉しくなって続けてきて本当に良かったと思います。

又、扇の会の活動は芯がブレないという根底にある考え方がしっかりしているから楽しく活動できると思っています。

(T)

た。お互いに「学び合ってるー」、「助かり合ってるー」ことに気づいたので。それは、聴覚に障がいを持つ人々だけの参加では気づけなかった学びでした。

健康!!と思ってる私も
ある部分では障がいを持っているかも?
みんな同じ空の下に生きている



その為、少ない情報量で判断される事もあり正しく伝わらなくて「何故、わかってもらえないのか?」と思う事もたびたびありました。

そういう時こそ、寄り添うことで見えてくる問題を理解しよう・努力しようとするのが大切と感じています。

続けているとみんながそれぞれに成長している自分に気づいてもらえるような気がします。

扇の会は姉妹サークルと連携し合って活動もしています。

これからもよりよい活動・よりよい方向を求めながら自由参加で仲良く続けていきたいと思えます。

わがまち散歩

〜すてきたかしま再発掘〜



思子淵神社(中野)

京都市左京区の北東部から大津市葛川、朽木地域、そして安曇川町中野に至る安曇川水系とその支流にはシコブチと呼ばれる神社が15社あります。思子淵、志古淵、志古淵、思子淵、志故淵など漢字表記は違いますが、これらの神社の分布を地図上で確認すると、水流の緩やかな中、下流域よりも急流域に多いことが分かります。

古代、琵琶湖の水運は重要な輸送ルートであり、そして森林に恵まれた高島郡は、都の造営のために多くの用材を供給していました。そうした木材は、戦後間もなくまで千数百年にわたって安曇川（およびその支流）から筏流しで琵琶湖へと搬出されていました。

しかし、安曇川水系の大部分は溪流などがあつて流れが速く、大きな岩や淵なども多くて筏乗りにとつては命に関わる大変な仕事でした。その危険な仕事を無事にやり遂げることを願って筏師を守る神「シコブチ神」が誕生し、安曇川水系に暮らす人々の間で信仰されてきたと言われています。

長い年月の間には、当然事故もあつたと思われ、川の魔物であるグワタロウ（河童）伝説とも結びついています。安曇川の上流を訪れる機会があれば、この様な信仰があつたことを思い出して渓流や淵を見て下さい。

出典：朽木村史 通史編（原始・古代の部）
写真提供：結びめ、柿 始さん



思子淵神社(朽木小川)



宮の葉たより

市外の方が語られた高島市の印象を紹介するコーナーです。今回は1月28日に開催された“たかしまマキノウィンターフェスティバル2012”にて、雪だるまコンテストに参加されたご家族にお話を伺いました。



長浜市から家族でやってきました。ただいまのニノ宮を狙って制作中です。

長浜では雪が降っていい心配でしたが、こちらは良い感じに晴れて無事に開催されてよかったです。

マキノには何回も訪れていますが、その度に前は違う経験ができます。これからも家族でマキノを楽しんで行くつもりです。



マキノ/高原

赤坂山の麓に広がる高原。冬はスキー場、夏はキャンプ場としてご家族で一年中楽しめます。また高原を起点に山登りやグラウンド・ゴルフもでき、体を動かした後はマキノ高原温泉さらさで汗を流してはいかがでしょうか。



秋には栗拾いをして、ニジマス釣いも体験しました。この一年、マキノにはまっています。マキノ、ほんさい!!



今、時代の風は高島に!!



氏名 政所 利子 (株) 玄

全国で「まちづくり」の活動がなされていますが、地元の人達には自分達の魅力や地元の資源の魅力はなかなか気がつきません。それは、日常のマンネリ感によって、素晴らしいものが見えにくくなっているため魅力がないわけではありません。実は、まちづくりでは、地域にお金が落ちる仕組みを作ることが重要ですが、足下の魅力に気づけば、いろいろな工夫を盛り込んで仕組みが作れます。今日は私が関わってきた全国「地域ブランドづくり」の経験から、高島市の底力発揮地域振興のヒントを紹介します。

国内ツーリズム市場は年間26兆円と言われていますが、インターネットで旅の予約をする人が急増し、旅行会社の売り上げは急減しています。ですが、お土産市場は伸びています。特に、女性はお土産にお金をかけます。そして、最近の旅の特徴は、受け入れ元が旅の楽しさ・喜びを提案する着地型観光にシフトしていることです。そこで、車社会と諦めずに「時速4kmのまちづくり」を提唱しています。実際に歩いて街を散策すると、いろいろなものが見えてきますし、お腹がすきます。そんな時、ご当地料理を食べられるところがあれば、日本人は、味噌や醤油といった発酵食品を日常的に口にしています。高島市は発酵食品文

化が栄えてきました。今、「醤油アイス」というのが人気を集めています。ご存じですか？ 実際、食べてみると美味しい！ 伝統をもとに進化させると面白い魅力が引き出せる例です。

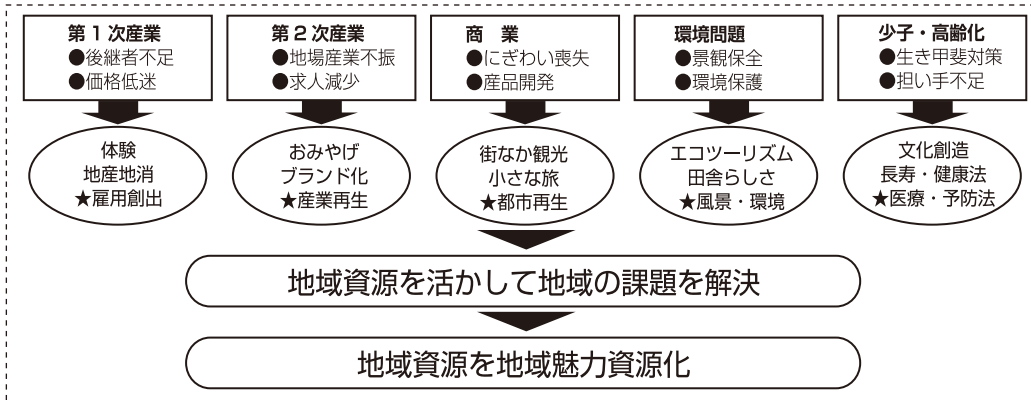
山形県庄内地方はいろんな農水産品がありますが、中でも少量多品種の優れたものがたくさんあります。大量に生産して儲けることが難しい素材でもあります。やはり旅行者に地元に来てもらう戦略を実践して成功しています。難しいけれど逆に考えて「食べ歩き」を工夫し「街歩き」をしてもらう。そうすると自然と「人めぐり」ができ、旅人に感動を与えることができます。富山県南砺市五箇山では、報恩講でふるまわれていた料理を旅人に出して大人気になっています。

「売りたい、売りたい」と一所懸命売り先を探してもなかなか売れない時代になっていきますが、使い手と一緒に考えてみると、大ヒットする可能性があります。高島市には葦や竹や扇骨技術がありますから女性が魅力を感じる様なチョット気の利いたものが作れないでしょうか。

古代、高島市は大和(都)と北陸の最短ルートでした。なので、高島は「旅の聖地」なのです。そして、この地にはいろいろな百選がありますし、お祭りや花とか万葉の歌とか、魅力がいっぱいです。水辺景観は最高ですね。水音を聞きながら郷土料理を食べるとホッとしませんか。

できれば、調理体験ができるとおもしろいですね。そして、高島市の山からの風、琵琶湖からの風。「風」の魅力があると思いませんか。高島市の魅力はこんなに沢山ありますから、みんなで知恵を出せば「日本の宝街道」になりそうな気がします。

本記事は、平成24年1月22日に開催された「新春のつどい」における政所氏の講演内容を、ご本人の了解を得て要旨をまとめたものです。



横の長さ 85 mm

縦の長さ 28 mm

募集 広告

次号のたかしまウォッチ第16号
発行は4月27日前後 締切り4月6日(金)

規格：縦の長さ 28mm×横の長さ 85mm
一色刷り

掲載料：1か月(1発行限り) 10,000円
発行部数：18000部

お問い合わせ たかしま市民協働交流センターまで【連絡先7ページ】

たかしま INFORMATION



家庭倫理講演会

テーマ「感動が心の扉を開く」

日 付：3月4日（日） 10:00～11:40

場 所：今津東コミュニティセンター 3階

入場料：1000円

講 師：池田久子専任講師

主 催：社団法人 倫理研究所

後 援：文部科学省・滋賀県教育委員会・高島市
高島市教育委員会・大津市教育委員会

問い合わせ

家庭倫理の会 びわこ西 TEL 0740-22-1454

ぶんげい★春の演劇祭

日 時：3月18日（日）

開場 12:30 開演 13:00

会 場：藤樹の里文化芸術会館

入場料：500円／全席自由

プログラム

13:00～ 安曇川高校演劇部

★ けれどスクリーンいっぱいの星
2012 安高演劇部バージョン

14:15～ 高島高校演劇部

★ 私達の居場所 そう それは陽だまりの中

15:30～ ぶんげい演劇教室+演劇集団つばめ

★ KIZUNA

主 催：高島市・高島市教育委員会

共 催：演劇集団つばめ・安曇川高校演劇部
高島高校演劇部

☆前売りチケット発売中

☆託児あり（希望される方は事前に申し込み下さい）

託児申込み・公演お問い合わせ

藤樹の里文化芸術会館 TEL 0740-32-2461

“シコブチ神”を知る

～安曇川水系に祀られる思子淵明神群～

安曇川流域で筏（いかだ）乗りの守護神として信仰されてきた、シコブチ神を最下流の中野の思子淵神社でその歴史に触れます

日 時：3月11日（日） 14:00～15:00

場 所：思子淵神社（安曇川町中野）

参加費：無料

講 師：石田 敏さん

（高島市教育委員会 文化財保護審議会委員）

主 催：安曇川流域文化遺産活用推進協議会

中野自治会・結びめ・高島市教育委員会

一般社団法人 安曇川流域 森と家づくりの会

問い合わせ

結びめ 西川 TEL 090-5014-1600

シアワセ度100%の素敵なメニューが大集合 わたしへのごほうび DAY

来場者も出展者もみんながキレイになって癒される♥
美と健康と癒しのコラボレーションイベント

頑張っている私に、とっておきの“シアワセ☆時間”
をプレゼントしませんか？

日 時：3月20日（火・祝） 10:00～16:00

場 所：ゆめばれっと高島（高島市働く女性の家）

内 容：

体験 ヘッドマッサージ・フットマッサージ・ネイル
足圧療法・ハンドトリートメント・美眉メイク
親子でハンドマッサージや小麦粘土遊び・ヨガ
西洋占星術・カラーセラピー・タロット占い など

カフェ 地元野菜ランチ BOX・薬膳おにぎりやスープ
薬膳茶・豆カレー・おやき・パン・穀物コーヒー
ナチュラルスイーツ・豆乳チャイ・肉まん など

託 児：有料（事前予約制）

主催 / お問い合わせ

高島市働く女性の家 TEL 0740-22-5775

たかしま市民協働交流センター協議会

たかしま市民協働交流センターは、市民活動、NPOを応援しています。

◆〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1

（今津東コミュニティセンター内）

◆TEL: 0740 (20) 5758 FAX: 0740 (20) 5757

◆URL: <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

◆E-mail: webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

◆開館時間：10時～19時

◆休館日：日曜日・祝日・年末年始（12/28～1/3）

マスコミに取り継ぎます

自分達の活動やイベントの告知チラシを
たかしま市民協働交流センターにお届けください。
高島市政記者クラブ会員各社に責任を持ってお渡しします。

⑤ 受付：随時 チラシ必要枚数：10枚

イベント告知の場合、
イベントの2～4週間前には届けて下さい



注）記事として取り上げるか否かは、マスコミ各社の判断となります



この印刷物は、古紙パルプを配合した再生紙と
大豆油インキを使用しています。